

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐震性についての計算書:電気計装関係)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/4/13	NS2-添2-006-74	耐震(計算書)(VI-2-6-7-1-11)	VI-2-6-7-1-11 静的触煤式水素処理装置出口温度の耐震性についての計算書	P.3	静的触煤式水素処理装置出口温度の機能維持評価用加速度の評価について、静的触煤式水素処理装置を剛構造としていること(関連図書の明示を含む。)について説明するとともに、静的触煤式水素処理装置の設置床の加速度を用いて評価していることの妥当性を説明すること。	2022/12/14	静的触煤式水素処理装置が剛構造であることを記載しました。また、静的触煤式水素処理装置が剛構造であることから据付場所における設計用震度を適用することを記載しました。	NS2-添2-006-74改01「VI-2-6-7-1-11 静的触煤式水素処理装置出口温度の耐震性についての計算書」P.3	
2	2022/4/25	NS2-添2-006-88	耐震(計算書)(VI-2-6-7-2-10)	VI-2-6-7-2-10 A-RHR・LPCS継電器盤の耐震性についての計算書	P.2	チャンネルベースと埋込金物との溶接部について、構造健全性を説明すること。	2022/11/16	チャンネルベースと埋込金物との溶接部について、構造強度評価を実施し、発生応力が許容応力未満であり、耐震性を有することを確認しました。	NS2-補-027-10-83「電気盤等の基礎・支持構造に係る耐震評価部位に関する補足説明資料」P.1~30	
3	2022/4/25	NS2-添2-010-49	耐震(計算書)(VI-2-10-1-4-14)	VI-2-10-1-4-14 メタクラ切替盤の耐震性についての計算書	P.8	メタクラ切替盤の電氣的機能維持評価について、剛体とみなせる器具が収納されるので構造的に健全であれば機能が維持できるとしているが、他の盤に設置される器具に対する評価との違いを含め機能が維持できるとする理由が分かるよう、より詳細に説明すること。	2022/11/16	他の盤と異なり構造が健全であれば機能が維持できる器具のみで構成されていることが分かるよう記載を見直しました。(下線部参照) (旧)ケーブル及び剛体とみなせる器具のみを収納した盤 (新)ケーブル、導体板及び端子台のみを収納した盤	NS2-添2-010-49改01「VI-2-10-1-4-14 メタクラ切替盤の耐震性についての計算書」P.8	
4	2022/5/20	NS2-添2-006-132	耐震(計算書)(VI-2-6-7-3-1-4)	VI-2-6-7-3-1-4 衛星電話設備(固定型)(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.5	衛星電話設備(固定型)の加振試験について、試験目的、試験条件等について説明すること。	2022/12/14	実機の据付状態を機及び固定具を含めて加振台上で模擬したうえで加振試験を実施することから機及び固定具の構造強度評価を省略している旨を記載しました。	NS2-添2-006-132改01「VI-2-6-7-3-1-4 衛星電話設備(固定型)(緊急時対策所)の耐震性についての計算書」P.3	
5	2022/5/20	NS2-添2-006-132	耐震(計算書)(VI-2-6-7-3-1-4)	VI-2-6-7-3-1-4 衛星電話設備(固定型)(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.3	衛星電話設備(固定型)の固有周期の評価について、具体的な評価方法を説明すること。	2022/12/14	実機の据付状態を機及び固定具を含めて加振台上で模擬したうえで加振試験を実施することから固有周期の評価を省略している旨を記載しました。	NS2-添2-006-132改01「VI-2-6-7-3-1-4 衛星電話設備(固定型)(緊急時対策所)の耐震性についての計算書」P.3	
6	2022/10/17	NS2-添2-004-11	耐震(計算書)(VI-2-4-4-1)	VI-2-4-4-1 燃料プール監視カメラ(SA)の耐震性についての計算書	P.57	表示(監視モニタ)(緊急時対策所)の評価に関し、監視モニタ(ノートPC)を固定する固縛用ベルトの締め付け状態の管理について、整理して説明すること。	今回回答	定期的にベルトにゆるみがないことを確認するため、燃料プール監視カメラ及び構内監視カメラの点検計画の「外觀点検」のタスクとして、「固縛用ベルトにゆるみ、損傷のないこと」を設定します。	-	
7	2022/10/17	NS2-添2-006-32	耐震(計算書)(VI-2-6-5-24)	VI-2-6-5-24 サプレッションプール水温度の耐震性についての計算書	P.19	サプレッションチェンバに設置される機器・配管系の耐震評価に用いる震度及びスペクトルの設定方法について、整理して説明すること。	後日回答			コメント移動
8	2022/10/17	NS2-添2-006-131	耐震(計算書)(VI-2-6-7-3-1-3)	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.9	解析モデルの設定に関し、リップとプレートの接続は梁要素でモデル化していることについて、考え方を説明すること。	今回回答	リップとプレートの接続は溶接にて接続しており、その溶接部をはりモデルとしてモデル化しています。	NS2-添2-006-131改01「VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書」P.9	
9	2022/10/17	NS2-添2-006-131	耐震(計算書)(VI-2-6-7-3-1-3)	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.18	応力の計算方法について、風荷重と積雪荷重を計算過程のどの時点で付与しているのか、整理して説明すること。	今回回答	基本的に積雪荷重は固有周期の算出時に考慮し、構造強度評価のタイミングで風荷重を付与しています。耐震計算書中にも付与するタイミングを明記しました。	NS2-添2-006-131改01「VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書」P.12	
10	2022/12/14	NS2-添2-006-56	耐震(計算書)(VI-2-6-5-48)	VI-2-6-5-48 地震加速度の耐震性についての計算書	P.19	地震加速度について、安全側に設定していることではなく、Sクラス施設であるため基準地震動Ssにより定まる加速度に対して、電氣的機能を維持できることを確認している旨を説明すること。	後日回答			
11	2022/12/14	NS2-添2-006-12	耐震(計算書)(VI-2-6-5-4)	VI-2-6-5-4 低圧炉心スプレイポンプ出口圧力の耐震性についての計算書	P.18	すみ肉溶接の発生応力の考え方について、引張応力とせん断応力の使い分けを検討の上、適切に修正して説明すること。	後日回答			
12	2022/12/14	NS2-添2-006-12	耐震(計算書)(VI-2-6-5-4)	VI-2-6-5-4 低圧炉心スプレイポンプ出口圧力の耐震性についての計算書	P.19	組合せ応力について、SRSSで組み合わせていることが適切であるか検討の上、適切に修正して説明すること。	後日回答			

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(耐震性についての計算書:電気計装関係)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～212は、NS2-他-236改01で整理済みのため省略。						
213	NS2-添2-004-11 改01	VI-2-4-4-1 燃料プール監視カメラ(SA)の耐震性についての計算書	P.2	概略構造図に「サポート鋼材」の矢視を追加しました。	2023/1/24	
214	NS2-添2-004-11 改01	VI-2-4-4-1 燃料プール監視カメラ(SA)の耐震性についての計算書	P.2,23,57	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)基礎(壁面) (新)壁	2023/1/24	
215	NS2-添2-004-11 改01	VI-2-4-4-1 燃料プール監視カメラ(SA)の耐震性についての計算書	P.7,62	固有周期はサポート鋼材を含めた正弦波掃引試験で確認していることを明記しました。	2023/1/24	
216	NS2-添2-004-11 改01	VI-2-4-4-1 燃料プール監視カメラ(SA)の耐震性についての計算書	P.13	図1-3に評価しているボルトの考え方を注記で追加しました。	2023/1/24	
217	NS2-添2-004-11 改01	VI-2-4-4-1 燃料プール監視カメラ(SA)の耐震性についての計算書	P.57	「基礎・支持構造」および「概略構造図」において、部材名称の記載を修正しました。 (旧)表示(監視モニタ)(緊急時対策所) (新)サポート鋼材	2023/1/24	
218	NS2-添2-004-11 改01	VI-2-4-4-1 燃料プール監視カメラ(SA)の耐震性についての計算書	P.57	「概略構造図」中の点線を適正化しました。	2023/1/24	
219	NS2-添2-004-12 改01	VI-2-4-4-2 燃料プール監視カメラ用冷却設備の耐震性についての計算書	P.2,14,30,38	構造図の縦横比を実機同様となるように修正しました。	2023/1/24	
220	NS2-添2-004-12 改01	VI-2-4-4-2 燃料プール監視カメラ用冷却設備の耐震性についての計算書	P.13	減衰定数の出典元について、計算書に記載しました。	2023/1/24	
221	NS2-添2-004-12 改01	VI-2-4-4-2 燃料プール監視カメラ用冷却設備の耐震性についての計算書	P.24	本設備は柔構造であるが、筐体を含む設備一式での加振試験を実施しているため、機能維持評価用加速度は設置床の最大応答加速度を適用していることがわかるように記載を適正化しました。	2023/1/24	
222	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウェル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.2,3	概略構造図の記載を適正化しました。 (旧)壁 (新)原子炉格納容器	2023/1/24	
223	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウェル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.2,3	概略構造図にウェルディングパッド、溶接及び保護管を追記しました。	2023/1/24	
224	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウェル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.2,3	基礎・支持構造の説明分の壁面を原子炉格納容器ウェルディングパッドに適正化しました。	2023/1/24	
225	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウェル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.3	B-B矢視図についてサポート鋼材位置を適正化しました。	2023/1/24	
226	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウェル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.6,27,30,35,53,56,59,62	その他の機器要目の機器緒元を(1)とし、(2)として部材の機器要目を追記しました。 部材の機器要目の対象部材番号と紐づく図面を追加しました。 部材の機器要目追加に伴い記号の説明を追加しました。	2023/1/24	
227	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウェル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.9,38	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…三次元はりモデルとして考える。 (新)…三次元はりモデルとする。	2023/1/24	
228	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウェル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.9,38	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…重心位置を設定するものとする。 (新)…重心位置を設定する。	2023/1/24	
229	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウェル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.10,38	解析モデル図に部材寸法及び設置レベルを追記しました。	2023/1/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
230	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.10 他	解析モデル図及び計算モデル図について記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)検出器荷重点、保護管荷重点 (新)検出器質量、保護管質量	2023/1/24	
231	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.11,12,39	振動モード図の変形が判りやすいように線種と凡例を変更しました。	2023/1/24	
232	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.13,40,72	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して、水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2023/1/24	
233	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.18,45	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)溶接部の応力 (新)溶接部の計算方法	2023/1/24	
234	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.20,46	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)溶接長さ (新)溶接の有効長さ	2023/1/24	
235	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.32	概略構造図及び基礎・支持構造の説明分をにおける記載を「壁」から「原子炉格納容器ウェルディングパッドまたは原子炉格納容器パイプホイップレストレストラクチャ」に適正化しました。 また、注記で説明を追加しました。	2023/1/24	
236	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.32	概略構造図について、下記のとおり適正化しました。(下線部参照) (旧)縦、溶接部 (新)たて、溶接	2023/1/24	
237	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.44,51,54,57,60	据付場所及び床面高さの適正化しました。	2023/1/24	
238	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.44	注記を追加し、注記番号を適正化しました。	2023/1/24	
239	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.51,54	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用震度Ⅰ(基準地震動Ss)を上回る設計震度 (新)設計用震度Ⅱ(基準地震動Ss)を上回る設計震度	2023/1/24	
240	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.64	「表2-1 構造計画」の概略構造図について、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)マンホール (新)バルクヘッドプレートマンホール	2023/1/24	
241	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.65,84	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)2.2.1 構造計画, 2.3 評価部位, 2.4 固有周期, 2.5 構造強度評価, 2.6 機能維持評価, 2.7 評価結果, 1.4.2 電氣的機能維持の評価結果 (新)3.2.1 構造計画, 3.3 評価部位, 3.4 固有周期, 3.5 構造強度評価, 3.6 機能維持評価, 3.7 評価結果, 1.4.3 電氣的機能維持の評価結果	2023/1/24	
242	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.65	「3.2.2 評価方針」の図3-1について、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)解析モデル設定 (新)計算モデル設定	2023/1/24	
243	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.70,72	記載統一を図るため以下のとおり記載を修正しました。 (旧)計器架台 (新)温度計固定用プレート	2023/1/24	
244	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.70,77,78	図番、表番を修正しました。	2023/1/24	
245	NS2-添2-006-35	VI-2-6-5-27 ドライウエル温度(SA)の耐震性についての計算書	P.77	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)取付ボルトの応力 (新)取付ボルトの計算方法	2023/1/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
246	NS2-添2-006-36 改01	VI-2-6-5-28 ペDESTAL温度(SA)の耐震性についての計算書	P.2	概略構造図及び基礎・支持構造の説明分における記載を適正化しました。 (旧)壁・壁面 (新)原子炉圧力容器ペDESTAL	2023/1/24	
247	NS2-添2-006-36 改01	VI-2-6-5-28 ペDESTAL温度(SA)の耐震性についての計算書	P.5,23,26	その他の機器要目の機器緒元を(1)とし、(2)として部材の機器要目を追記しました。 部材の機器要目の対象部材番号と紐づく図面を追加しました。 部材の機器要目追加に伴い記号の説明を追加しました。	2023/1/24	
248	NS2-添2-006-36 改01	VI-2-6-5-28 ペDESTAL温度(SA)の耐震性についての計算書	P.8	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…三次元はりモデルとして考える。 (新)…三次元はりモデルとする。	2023/1/24	
249	NS2-添2-006-36 改01	VI-2-6-5-28 ペDESTAL温度(SA)の耐震性についての計算書	P.8	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…重心位置を設定するものとする。 (新)…重心位置を設定する。	2023/1/24	
250	NS2-添2-006-36 改01	VI-2-6-5-28 ペDESTAL温度(SA)の耐震性についての計算書	P.8	解析モデル図に部材寸法及び設置レベルを追記しました。	2023/1/24	
251	NS2-添2-006-36 改01	VI-2-6-5-28 ペDESTAL温度(SA)の耐震性についての計算書	P.8,15,23,26	解析モデル図及び計算モデル図について記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)検出器荷重点, 保護管荷重点 (新)検出器質量, 保護管質量	2023/1/24	
252	NS2-添2-006-36 改01	VI-2-6-5-28 ペDESTAL温度(SA)の耐震性についての計算書	P.9	振動モード図の変形が判りやすいように線種と凡例を変更しました。	2023/1/24	
253	NS2-添2-006-49 改01	VI-2-6-5-41 サプレッションプール水位の耐震性についての計算書	目次	固有周期の確認方法記載の適正化に伴い項目を修正しました。 (旧)1.4.1 基本方針, 1.4.2 固有周期の確認方法, 1.4.3 固有周期の確認結果 (新)1.4.1 固有周期の確認	2023/1/24	
254	NS2-添2-006-49 改01	VI-2-6-5-41 サプレッションプール水位の耐震性についての計算書	P.8	固有周期の確認方法について、構造が同等な設備の固有周期により確認していることが分かる記載に適正化しました。	2023/1/24	
255	NS2-添2-006-53 改01	VI-2-6-5-45 原子炉建物水素濃度の耐震性についての計算書	P.6,25,28,31,34,37,40,45,62	その他の機器要目の機器緒元を(1)とし、(2)として部材の機器要目を追記しました。 部材の機器要目の対象部材番号と紐づく図面を追加しました。 部材の機器要目追加に伴い記号の説明を追加しました。	2023/1/24	
256	NS2-添2-006-53 改01	VI-2-6-5-45 原子炉建物水素濃度の耐震性についての計算書	P.9,48	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…三次元はりモデルとして考える。 (新)…三次元はりモデルとする。	2023/1/24	
257	NS2-添2-006-53 改01	VI-2-6-5-45 原子炉建物水素濃度の耐震性についての計算書	P.9,48	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…重心位置を設定するものとする。 (新)…重心位置を設定する。	2023/1/24	
258	NS2-添2-006-53 改01	VI-2-6-5-45 原子炉建物水素濃度の耐震性についての計算書	P.10,48	解析モデル図に部材寸法及び設置レベルを追記しました。	2023/1/24	
259	NS2-添2-006-53 改01	VI-2-6-5-45 原子炉建物水素濃度の耐震性についての計算書	P.10 他	解析モデル図及び計算モデル図について記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)検出器荷重点 (新)検出器質量	2023/1/24	
260	NS2-添2-006-53 改01	VI-2-6-5-45 原子炉建物水素濃度の耐震性についての計算書	P.11,12,49	振動モード図の変形が判りやすいように線種と凡例を変更しました。	2023/1/24	
261	NS2-添2-006-53 改01	VI-2-6-5-45 原子炉建物水素濃度の耐震性についての計算書	P.17,35	誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)EL 18.28 (新)EL 18.18	2023/1/24	
262	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水素濃度水位の耐震性についての計算書	P.目-5	ページ追加に伴い、ページ番号を修正しました。	2023/1/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
263	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.20,45,100	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して、水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2023/1/24	
264	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.20,45	記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)・・・耐震性の計算を行うものとする。 (新)・・・耐震性の計算を行う。	2023/1/24	
265	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.61	記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)天井及び壁 (新)天井及び壁面	2023/1/24	
266	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.65,66,88,89,90,95,116	その他の機器要目の機器緒元を(1)とし、(2)として部材の機器要目を追記しました。 部材の機器要目の対象部材番号と紐づく図面を追加しました。 部材の機器要目追加に伴い記号の説明を追加しました。	2023/1/24	
267	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.69,98	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・重心位置を設定するものとする。 (新)・・・重心位置を設定する。	2023/1/24	
268	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.70,98	解析モデル図に部材寸法及び設置レベルを追記しました。	2023/1/24	
269	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.70 他	解析モデル図及び計算モデル図について記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)検出器荷重点 (新)検出器質量	2023/1/24	
270	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.70	解析モデル図を分かりやすくするため、鋼材ごとに色分けをし、凡例を追加しました。	2023/1/24	
271	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.70,98	解析モデル図に剛性の高い梁要素を追加しました。	2023/1/24	
272	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.71,99	振動モード図の変形が判りやすいように線種と凡例を変更しました。	2023/1/24	
273	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.83, 111	機能確認済加速度の試験方法について誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)正弦波加振試験 (新)サインピート波加振試験	2023/1/24	
274	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.92,98	記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)壁 (新)壁面	2023/1/24	
275	NS2-添2-006-55	VI-2-6-5-47 スクラム排水水容器水位の耐震性についての計算書	P.92	概略構造図に(単位:mm)を追記しました。	2023/1/24	
276	NS2-添2-006-57	VI-2-6-5-49 主蒸気管トンネル温度の耐震性についての計算書	P.2~4	記載統一のため以下のとおり修正しました。 (旧)縦 (新)たて	2023/1/24	
277	NS2-添2-006-57	VI-2-6-5-49 主蒸気管トンネル温度の耐震性についての計算書	P.3	記載統一のため以下のとおり修正しました。 (旧)壁 (新)梁	2023/1/24	
278	NS2-添2-006-57	VI-2-6-5-49 主蒸気管トンネル温度の耐震性についての計算書	P.11,45,48,51,54,57,60,63,66,69,72,75,78,81,84,87,90	その他の機器要目の機器緒元を(1)とし、(2)として部材の機器要目を追記しました。 部材の機器要目の対象部材番号と紐づく図面を追加しました。 部材の機器要目追加に伴い記号の説明を追加しました。	2023/1/24	
279	NS2-添2-006-57	VI-2-6-5-49 主蒸気管トンネル温度の耐震性についての計算書	P.14	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・三次元はりモデルとして考える。 (新)・・・三次元はりモデルとする。	2023/1/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
280	NS2-添2-006-57	VI-2-6-5-49 主蒸気管トンネル温度の耐震性についての計算書	P.14	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…重心位置を設定するものとする。 (新)…重心位置を設定する。	2023/1/24	
281	NS2-添2-006-57	VI-2-6-5-49 主蒸気管トンネル温度の耐震性についての計算書	P.15,16,17	解析モデル図に部材寸法及び設置レベルを追記しました。	2023/1/24	
282	NS2-添2-006-57	VI-2-6-5-49 主蒸気管トンネル温度の耐震性についての計算書	P.15 他	解析モデル図及び計算モデル図について記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)検出器荷重点, 電線管類荷重点 (新)検出器質量, 電線管類荷質量	2023/1/24	
283	NS2-添2-006-57	VI-2-6-5-49 主蒸気管トンネル温度の耐震性についての計算書	P.15～17	解析モデル図に剛性の高い梁要素を追加しました。	2023/1/24	
284	NS2-添2-006-57	VI-2-6-5-49 主蒸気管トンネル温度の耐震性についての計算書	P.19～24	振動モード図の変形が判りやすいように線種と凡例を変更しました。	2023/1/24	
285	NS2-添2-006-57	VI-2-6-5-49 主蒸気管トンネル温度の耐震性についての計算書	P.40	記載を適正化しました。 (旧)当該器具と類似の器具単体 (新)類似の検出器単体	2023/1/24	
286	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.2	「表2-1 構造計画」の概略構造図に記載している盤名称, 計器名称を削除しました。	2023/1/24	
287	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.2	概略構造図について, 対象機器の名称を表に追記しました。	2023/1/24	
288	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.2	計画の概要の基礎・支持構造について, 以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)サポート鋼材は, 基礎ボルトにより壁面に固定する。 (新)サポート鋼材は, 基礎ボルトにより壁面に設置する。	2023/1/24	
289	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.2	概略構造図等について, 記載統一のため以下のとおり記載を修正しました。 (旧)壁面, 縦 (新)壁, たて	2023/1/24	
290	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.5,22,25	その他の機器要目の機器緒元を(1)とし, (2)として部材の機器要目を追記しました。 部材の機器要目の対象部材番号と紐づく図面を追加しました。 部材の機器要目追加に伴い記号の説明を追加しました。	2023/1/24	
291	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.5	記号の説明について, 記載統一のため「Ab」のbを下付きに修正しました。	2023/1/24	
292	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.5	記号の説明について, 記載統一のため「Fb」に「(1本当たり)」を追記しました。	2023/1/24	
293	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.5	記号の説明について, 記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)検出器の荷重 (新)計器の荷重	2023/1/24	
294	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.8	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…三次元はりモデルとして考える。 (新)…三次元はりモデルとする。	2023/1/24	
295	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.8	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…重心位置を設定するものとする。 (新)…重心位置を設定する。	2023/1/24	
296	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.8	解析モデル図に部材寸法及び設置レベルを追記しました。	2023/1/24	
297	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.8	解析モデル図に剛性の高い梁要素に記載しました。	2023/1/24	
298	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.8,15,22,25	解析モデル図及び計算モデル図について記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)検出器荷重点 (新)検出器質量	2023/1/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
299	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.9	振動モード図の変形が判りやすいように線種と凡例を変更しました。	2023/1/24	
300	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.10	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して、水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2023/1/24	
301	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.13,20,23	使用材料のボルト素材径を修正しました。	2023/1/24	
302	NS2-添2-006-73	VI-2-6-7-1-10 静的触媒式水素処理装置入口温度の耐震性についての計算書	P.17	基礎ボルトの応力計算条件について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)TE2B4-1D (新)TE2B4-1S	2023/1/24	
303	NS2-添2-006-78	VI-2-6-7-1-15 代替制御棒挿入機能用電磁弁の耐震性についての計算書	P.4	代替制御棒挿入機能用電磁弁は、小型で軽量であることから十分に剛であるとみなせるため、固有周期の計算は省略することを記載しました。	2023/1/24	
304	NS2-添2-006-78	VI-2-6-7-1-15 代替制御棒挿入機能用電磁弁の耐震性についての計算書	P.4	図2-1のフローに固有周期を追記しました。	2023/1/24	
305	NS2-添2-006-78	VI-2-6-7-1-15 代替制御棒挿入機能用電磁弁の耐震性についての計算書	P.5	設計用震度が明確になるよう記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (基準地震動 S_s)を上回る設計震度又は代替制御棒挿入機能用電磁弁の取付部の配管に生じる応答加速度 (新)設計用震度 I (基準地震動 S_s)を上回る設計震度又は基準地震動 S_s により定まる代替制御棒挿入機能用電磁弁の取付部の配管に生じる応答加速度	2023/1/24	
306	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.2	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)基礎(壁面) (新)壁	2023/1/24	
307	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.4	適用規格・基準等に「建築基準法・同施行令」を追記しました。	2023/1/24	
308	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.9,17,19	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)三次元はりモデル及びシェルモデル (新)三次元FEMモデル	2023/1/24	
309	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.9	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)三次元はりモデル及びシェルモデルとして考える。 (新)三次元FEMモデルとする。	2023/1/24	
310	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.9	「アンテナ架台」を概略構造図に記載している名称に合わせ、「サポート鋼材(L字鋼)及びリブ」に修正しました。	2023/1/24	
311	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.9	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)リブとプレートの接続は梁要素でモデル化する。 (新)リブとサポート鋼材(L字鋼)の接続部(溶接)は梁要素でモデル化する。	2023/1/24	
312	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.9	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…重心位置を設定するものとする。 (新)…重心位置を設定する。	2023/1/24	
313	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.9	適切な表現に記載を見直しました。(下線部参照) (旧)積雪荷重は、アンテナ部分は重心位置に集中重量として付与し、アンテナ架台には密度として付与する。 (新)積雪相当の質量は、アンテナ部分は重心位置に集中質量として付与し、サポート鋼材(L字鋼)には分布質量として付与する。	2023/1/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
314	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.10	アンテナ荷重点と取付ボルトの接続部は、剛性の高いはり要素で接続していることを確認したため、図中にその旨を追記しました。	2023/1/24	
315	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.12	下記のとおり、風圧力についての記載を追加しました。 (2) 風圧力は、水平2方向それぞれの受風面積から荷重を算出し、シェル要素に分布荷重として同時に作用させる。集中質量としてモデル化しているアンテナに対しては集中荷重として作用させる。	2023/1/24	
316	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.22	記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)同型式 (新)同形式	2023/1/24	
317	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.26	「(1)機器諸元」という記載を追加しました。	2023/1/24	
318	NS2-添2-006-131 改01	VI-2-6-7-3-1-3 衛星電話設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.27	部材の機器要目を明確にするため、「(2)部材の機器要目」を追加しました。	2023/1/24	
319	NS2-添2-006-133	VI-2-6-7-3-1-5 緊急時対策所 衛星電話設備用ラックの耐震性についての計算書	P.7	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)三次元はりモデル及びシェルモデルとして考える。 (新)三次元FEMモデルとする。	2023/1/24	
320	NS2-添2-006-133	VI-2-6-7-3-1-5 緊急時対策所 衛星電話設備用ラックの耐震性についての計算書	P.7	適切な表現に記載を見直しました。 (旧)密度 (新)分布質量	2023/1/24	
321	NS2-添2-006-133	VI-2-6-7-3-1-5 緊急時対策所 衛星電話設備用ラックの耐震性についての計算書	P.10	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して、水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2023/1/24	
322	NS2-添2-006-133	VI-2-6-7-3-1-5 緊急時対策所 衛星電話設備用ラックの耐震性についての計算書	P.10	記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)・・・耐震性の計算を行うものとする。 (新)・・・耐震性の計算を行う。	2023/1/24	
323	NS2-添2-006-133	VI-2-6-7-3-1-5 緊急時対策所 衛星電話設備用ラックの耐震性についての計算書	P.19	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)ラックの機能確認済加速度は、・・・ (新)ラックに設置される器具の機能確認済加速は、・・・	2023/1/24	
324	NS2-添2-006-133	VI-2-6-7-3-1-5 緊急時対策所 衛星電話設備用ラックの耐震性についての計算書	P.23	「(1)機器諸元」という記載を追加しました。	2023/1/24	
325	NS2-添2-006-133	VI-2-6-7-3-1-5 緊急時対策所 衛星電話設備用ラックの耐震性についての計算書	P.24	部材の機器要目を明確にするため、「(2)部材の機器要目」を追加しました。	2023/1/24	
326	NS2-添2-006-134 改01	VI-2-6-7-3-1-6 衛星電話設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.目-2	ページ番号を修正しました。	2023/1/24	
327	NS2-添2-006-134 改01	VI-2-6-7-3-1-6 衛星電話設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.4,25	適用規格・基準等に「建築基準法・同施行令」を追記しました。	2023/1/24	
328	NS2-添2-006-134 改01	VI-2-6-7-3-1-6 衛星電話設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.8	記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)・・・耐震性の計算を行うものとする。 (新)・・・耐震性の計算を行う。	2023/1/24	
329	NS2-添2-006-134 改01	VI-2-6-7-3-1-6 衛星電話設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.23	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)基礎(壁面) (新)壁	2023/1/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
330	NS2-添2-006-134 改01	VI-2-6-7-3-1-6 衛星電話設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.29	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)三次元はりモデルとして考える。 (新)三次元はりモデルとする。	2023/1/24	
331	NS2-添2-006-134 改01	VI-2-6-7-3-1-6 衛星電話設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.29	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…重心位置を設定するものとする。 (新)…重心位置を設定する。	2023/1/24	
332	NS2-添2-006-134 改01	VI-2-6-7-3-1-6 衛星電話設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.31	以下の記載を追記しました。 (2) 風圧力は、水平2方向それぞれの受風面積から荷重を算出し、はり要素に分布荷重として同時に作用させる。集中質量としてモデル化しているアンテナに対しては集中荷重として作用させる。	2023/1/24	
333	NS2-添2-006-134 改01	VI-2-6-7-3-1-6 衛星電話設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.44	「(1)機器諸元」という記載を追加しました。	2023/1/24	
334	NS2-添2-006-134 改01	VI-2-6-7-3-1-6 衛星電話設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.45	部材の機器要目を明確にするため、「(2)部材の機器要目」を追加しました。	2023/1/24	
335	NS2-添2-006-137 改01	VI-2-6-7-3-2-3 無線通信設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	目次	ページ番号を修正しました。	2023/1/24	
336	NS2-添2-006-137 改01	VI-2-6-7-3-2-3 無線通信設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.2	衛星電話設備用アンテナとの識別のため、以下のとおりアンテナ名称を修正しました。(下線部参照) (旧)アンテナ (新)コーリニアアンテナ	2023/1/24	
337	NS2-添2-006-137 改01	VI-2-6-7-3-2-3 無線通信設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.2	以下のとおり記載を適正化しました。 (旧)基礎(壁面) (新)壁	2023/1/24	
338	NS2-添2-006-137 改01	VI-2-6-7-3-2-3 無線通信設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.4	適用規格・基準等に「建築基準法・同施行令」を追記しました。	2023/1/24	
339	NS2-添2-006-137 改01	VI-2-6-7-3-2-3 無線通信設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.8,10	(1)にコーリニアアンテナを剛性の高い梁要素としてモデル化している旨を追記しました。また、(1)の追加に伴い、以降の番号を修正しました。	2023/1/24	
340	NS2-添2-006-137 改01	VI-2-6-7-3-2-3 無線通信設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.8	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)…重心位置を設定するものとする。 (新)…重心位置を設定する。	2023/1/24	
341	NS2-添2-006-137 改01	VI-2-6-7-3-2-3 無線通信設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.8	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)三次元はりモデルとして考える。 (新)三次元はりモデルとする。	2023/1/24	
342	NS2-添2-006-137 改01	VI-2-6-7-3-2-3 無線通信設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.10	追記しました。 (2) 風圧力は、水平2方向それぞれの受風面積から荷重を算出し、はり要素に分布荷重として同時に作用させる。集中質量としてモデル化しているアンテナ及びB3取付金具に対しては集中荷重として作用させる。	2023/1/24	
343	NS2-添2-006-137 改01	VI-2-6-7-3-2-3 無線通信設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.23	「(1)機器諸元」という記載を追加しました。	2023/1/24	
344	NS2-添2-006-137 改01	VI-2-6-7-3-2-3 無線通信設備用アンテナ(中央制御室)の耐震性についての計算書	P.24	部材の機器要目を明確にするため、「(2)部材の機器要目」を追加しました。	2023/1/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
345	NS2-添2-006-139	VI-2-6-7-3-2-5 緊急時対策所 無線通信設備用ラックの耐震性についての計算書	P.7	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)三次元はりモデル及びシェルモデルとして考える。 (新)三次元FEMモデルとする。	2023/1/24	
346	NS2-添2-006-139	VI-2-6-7-3-2-5 緊急時対策所 無線通信設備用ラックの耐震性についての計算書	P.7	適切な表現に記載を見直しました。 (旧)密度 (新)分布質量	2023/1/24	
347	NS2-添2-006-139	VI-2-6-7-3-2-5 緊急時対策所 無線通信設備用ラックの耐震性についての計算書	P.10	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して、水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2023/1/24	
348	NS2-添2-006-139	VI-2-6-7-3-2-5 緊急時対策所 無線通信設備用ラックの耐震性についての計算書	P.10	記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)・・・耐震性の計算を行うものとする。 (新)・・・耐震性の計算を行う。	2023/1/24	
349	NS2-添2-006-139	VI-2-6-7-3-2-5 緊急時対策所 無線通信設備用ラックの耐震性についての計算書	P.19	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)ラックの機能確認済加速度は、・・・ (新)ラックに設置される器具の機能確認済加速は、・・・	2023/1/24	
350	NS2-添2-006-139	VI-2-6-7-3-2-5 緊急時対策所 無線通信設備用ラックの耐震性についての計算書	P.23	「(1)機器諸元」という記載を追加しました。	2023/1/24	
351	NS2-添2-006-139	VI-2-6-7-3-2-5 緊急時対策所 無線通信設備用ラックの耐震性についての計算書	P.24	部材の機器要目を明確にするため、「(2)部材の機器要目」を追加しました。	2023/1/24	
352	NS2-添2-006-140 改01	VI-2-6-7-3-2-6 無線通信設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.2	衛星電話設備用アンテナとの識別のため、以下のとおりアンテナ名称を修正しました。(下線部参照) (旧)アンテナ (新)コーリニアアンテナ	2023/1/24	
353	NS2-添2-006-140 改01	VI-2-6-7-3-2-6 無線通信設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.4	適用規格・基準等に「建築基準法・同施行令」を追記しました。	2023/1/24	
354	NS2-添2-006-140 改01	VI-2-6-7-3-2-6 無線通信設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.8	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)三次元はりモデルとして考える。 (新)三次元はりモデルとする。	2023/1/24	
355	NS2-添2-006-140 改01	VI-2-6-7-3-2-6 無線通信設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.8	(1)にコーリニアアンテナを剛性の高い梁要素としてモデル化している旨を追記しました。また、(1)の追加に伴い、以降の番号を修正しました。	2023/1/24	
356	NS2-添2-006-140 改01	VI-2-6-7-3-2-6 無線通信設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.8	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・重心位置を設定するものとする。 (新)・・・重心位置を設定する。	2023/1/24	
357	NS2-添2-006-140 改01	VI-2-6-7-3-2-6 無線通信設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.9	解析モデルについて、誤記があったため、適切な名称に以下のとおり記載を修正しました。 (旧)剛性の高い梁要素(取付金具) (新)アンテナの荷重点	2023/1/24	
358	NS2-添2-006-140 改01	VI-2-6-7-3-2-6 無線通信設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.9	解析モデルについて、適切な名称に以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)仮想鋼材(取付金具) (新)剛性の高い梁要素(取付金具)	2023/1/24	
359	NS2-添2-006-140 改01	VI-2-6-7-3-2-6 無線通信設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.11	記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)・・・耐震性の計算を行うものとする。 (新)・・・耐震性の計算を行う。	2023/1/24	
360	NS2-添2-006-140 改01	VI-2-6-7-3-2-6 無線通信設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.24	「(1)機器諸元」という記載を追加しました。	2023/1/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
361	NS2-添2-006-140 改01	VI-2-6-7-3-2-6 無線通信設備用アンテナ(緊急時対策所)の耐震性についての計算書	P.25	部材の機器要目を明確にするため、「(2)部材の機器要目」を追加しました。	2023/1/24	
362	NS2-添2-006-145	VI-2-6-7-3-3-5 統合原子力防災ネットワークに接続する通信連絡設備のうち統合原子力防災NW用屋外アンテナの耐震性についての計算書	P.4	適用規格・基準等に「建築基準法・同施行令」を追記しました。	2023/1/24	
363	NS2-添2-008-02 改01	VI-2-8-2-1 主蒸気管放射線モニタの耐震性についての計算書	P.2,13,21,24,27,30	概略構造図について、保持金具等の構造を適正化しました	2023/1/24	
364	NS2-添2-008-02 改01	VI-2-8-2-1 主蒸気管放射線モニタの耐震性についての計算書	P.7	機能確認済加速度の試験方法について適正化しました。	2023/1/24	
365	NS2-添2-008-02 改01	VI-2-8-2-1 主蒸気管放射線モニタの耐震性についての計算書	P.11,19,22,25,28	使用材料のボルト素材径を修正しました。	2023/1/24	
366	NS2-添2-008-02 改01	VI-2-8-2-1 主蒸気管放射線モニタの耐震性についての計算書	P.13	「図5-1 計算モデル」について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)引張を受けるボルト (新)引張を受ける取付ボルト	2023/1/24	
367	NS2-添2-008-02 改01	VI-2-8-2-1 主蒸気管放射線モニタの耐震性についての計算書	P.17	機能確認済加速度の試験方法について適正化しました。	2023/1/24	
368	NS2-添2-008-03 改01	VI-2-8-2-2 格納容器雰囲気放射線モニタ(ドライウェル)の耐震性についての計算書	P.2,13,21,25	概略構造図について、保持金具等の構造を適正化しました	2023/1/24	
369	NS2-添2-008-03 改01	VI-2-8-2-2 格納容器雰囲気放射線モニタ(ドライウェル)の耐震性についての計算書	P.7	「4.2 固有周期の確認方法」について、試験方法を明確に記載しました。	2023/1/24	
370	NS2-添2-008-03 改01	VI-2-8-2-2 格納容器雰囲気放射線モニタ(ドライウェル)の耐震性についての計算書	P.11,18,20,22,24	使用材料のボルト素材径を修正しました。	2023/1/24	
371	NS2-添2-008-03 改01	VI-2-8-2-2 格納容器雰囲気放射線モニタ(ドライウェル)の耐震性についての計算書	P.13	「図5-1 計算モデル」について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)引張を受けるボルト (新)引張を受ける取付ボルト	2023/1/24	
372	NS2-添2-008-04	VI-2-8-2-3 格納容器雰囲気放射線モニタ(サブプレッションチェンバ)の耐震性についての計算書	目次	固有周期の確認方法記載の適正化に伴い項目を修正しました。(下線部参照) (旧)1.4.1 基本方針, 1.4.2 固有周期の確認方法, 1.4.3 固有周期の確認結果 (新)1.4.1 固有周期の確認方法	2023/1/24	
373	NS2-添2-008-04	VI-2-8-2-3 格納容器雰囲気放射線モニタ(サブプレッションチェンバ)の耐震性についての計算書	P.2 他	転倒方向の表記を以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)「正面方向」, 「側面方向」 (新)「 <u>左右</u> 方向」, 「 <u>前後</u> 方向」	2023/1/24	
374	NS2-添2-008-04	VI-2-8-2-3 格納容器雰囲気放射線モニタ(サブプレッションチェンバ)の耐震性についての計算書	P.7	固有周期の確認方法について、構造が同等な設備の固有周期により確認していることが分かる記載に適正化しました。	2023/1/24	
375	NS2-添2-008-04	VI-2-8-2-3 格納容器雰囲気放射線モニタ(サブプレッションチェンバ)の耐震性についての計算書	P.8	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して、水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2023/1/24	
376	NS2-添2-008-04	VI-2-8-2-3 格納容器雰囲気放射線モニタ(サブプレッションチェンバ)の耐震性についての計算書	P.8	記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)・・・耐震性の計算を行うものとする。 (新)・・・耐震性の計算を行う。	2023/1/24	
377	NS2-添2-008-04	VI-2-8-2-3 格納容器雰囲気放射線モニタ(サブプレッションチェンバ)の耐震性についての計算書	P.15	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)ここで、取付ボルトの軸断面積Ab (新)ここで、 <u>基礎</u> ボルトの軸断面積Ab	2023/1/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
378	NS2-添2-008-04	VI-2-8-2-3 格納容器雰囲気放射線モニタ(サブプレッションチェンバ)の耐震性についての計算書	P.20,22,25,27	使用材料のボルト素材径を修正しました。	2023/1/24	
379	NS2-添2-008-05	VI-2-8-2-4 燃料取替階放射線モニタの耐震性についての計算書	P.2 他	転倒方向の表記を以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)「正面方向」、「側面方向」 (新)「左右方向」、「前後方向」	2023/1/24	
380	NS2-添2-008-05	VI-2-8-2-4 燃料取替階放射線モニタの耐震性についての計算書	P.9	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して、水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2023/1/24	
381	NS2-添2-008-05	VI-2-8-2-4 燃料取替階放射線モニタの耐震性についての計算書	P.9	記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)・・・耐震性の計算を行うものとする。 (新)・・・耐震性の計算を行う。	2023/1/24	
382	NS2-添2-008-05	VI-2-8-2-4 燃料取替階放射線モニタの耐震性についての計算書	P.22,25,28,31,34	新たに得た加振試験結果を反映し、加振試験波及び機能確認済加速度を変更しました。	2023/1/24	
383	NS2-添2-008-05	VI-2-8-2-4 燃料取替階放射線モニタの耐震性についての計算書	P.24,27,30,33	使用材料のボルト素材径を修正しました。	2023/1/24	
384	NS2-添2-008-06	VI-2-8-2-5 原子炉棟排気高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	P.2 他	転倒方向の表記を以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)「正面方向」、「側面方向」 (新)「左右方向」、「前後方向」	2023/1/24	
385	NS2-添2-008-06	VI-2-8-2-5 原子炉棟排気高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	P.10	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して、水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2023/1/24	
386	NS2-添2-008-06	VI-2-8-2-5 原子炉棟排気高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	P.10	記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)・・・耐震性の計算を行うものとする。 (新)・・・耐震性の計算を行う。	2023/1/24	
387	NS2-添2-008-06	VI-2-8-2-5 原子炉棟排気高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	P.23,26,29,32,35	新たに得た加振試験結果を反映し、加振試験波及び機能確認済加速度を変更しました。	2023/1/24	
388	NS2-添2-008-06	VI-2-8-2-5 原子炉棟排気高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	P.25,28,31,34	使用材料のボルト素材径を修正しました。	2023/1/24	
389	NS2-添2-008-07	VI-2-8-2-6 非常用ガス処理系排ガス高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	目次	固有周期の確認方法記載の適正化に伴い項目を修正しました。 (旧)1.4.1 基本方針, 1.4.2 固有周期の確認方法, 1.4.3 固有周期の確認結果 (新)1.4.1 固有周期の確認	2023/1/24	
390	NS2-添2-008-07	VI-2-8-2-6 非常用ガス処理系排ガス高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	P.2,5,8,13,14,20,22	転倒方向の表記を以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)「正面方向」、「側面方向」 (新)「左右方向」、「前後方向」	2023/1/24	
391	NS2-添2-008-07	VI-2-8-2-6 非常用ガス処理系排ガス高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	P.7	固有周期の確認方法について、構造が同等な設備の固有周期により確認していることが分かる記載に適正化しました。	2023/1/24	
392	NS2-添2-008-07	VI-2-8-2-6 非常用ガス処理系排ガス高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	P.8	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して、水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2023/1/24	
393	NS2-添2-008-07	VI-2-8-2-6 非常用ガス処理系排ガス高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	P.8	記載統一のため以下のとおり修正しました。 (旧)・・・耐震性の計算を行うものとする。 (新)・・・耐震性の計算を行う。	2023/1/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
394	NS2-添2-008-07	VI-2-8-2-6 非常用ガス処理系排ガス高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	P.11,20	使用材料のボルト素材径を修正しました。	2023/1/24	
395	NS2-添2-008-07	VI-2-8-2-6 非常用ガス処理系排ガス高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	P.15	以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)ここで、取付ボルトの軸断面積Ab (新)ここで、 <u>基礎ボルトの軸断面積Ab</u>	2023/1/24	
396	NS2-添2-008-07	VI-2-8-2-6 非常用ガス処理系排ガス高レンジ放射線モニタの耐震性についての計算書	P.18	機能確認済加速度の試験方法について適正化しました。	2023/1/24	
397	NS2-添2-008-10	VI-2-8-2-9 燃料プールエリア放射線モニタ(低レンジ)(SA)の耐震性についての計算書	P.2 他	転倒方向の表記を以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)「正面方向」、「側面方向」 (新)「 <u>左右方向</u> 」、「 <u>前後方向</u> 」	2023/1/24	
398	NS2-添2-008-10	VI-2-8-2-9 燃料プールエリア放射線モニタ(低レンジ)(SA)の耐震性についての計算書	P.8	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して、水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。 <u>また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。</u>	2023/1/24	
399	NS2-添2-008-10	VI-2-8-2-9 燃料プールエリア放射線モニタ(低レンジ)(SA)の耐震性についての計算書	P.8	記載統一のため以下のとおり修正しました。 (旧)・・・耐震性の計算を行うものとする。 (新)・・・耐震性の計算を行う。	2023/1/24	
400	NS2-添2-008-10	VI-2-8-2-9 燃料プールエリア放射線モニタ(低レンジ)(SA)の耐震性についての計算書	P.20	使用材料のボルト素材径を修正しました。	2023/1/24	
401	NS2-添2-008-11	VI-2-8-2-10 燃料プールエリア放射線モニタ(高レンジ)(SA)の耐震性についての計算書	P.2 他	転倒方向の表記を以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)「正面方向」、「側面方向」 (新)「 <u>左右方向</u> 」、「 <u>前後方向</u> 」	2023/1/24	
402	NS2-添2-008-11	VI-2-8-2-10 燃料プールエリア放射線モニタ(高レンジ)(SA)の耐震性についての計算書	P.8	荷重の組合せ方法を明確にするため、以下のとおり記載を修正しました。(下線部参照) (旧)に対して、水平方向及び鉛直方向から作用するものとする。 (新)に対して水平方向及び鉛直方向から個別に作用させる。 <u>また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。</u>	2023/1/24	
403	NS2-添2-008-11	VI-2-8-2-10 燃料プールエリア放射線モニタ(高レンジ)(SA)の耐震性についての計算書	P.8	記載統一のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)・・・耐震性の計算を行うものとする。 (新)・・・耐震性の計算を行う。	2023/1/24	
404	NS2-添2-008-11	VI-2-8-2-10 燃料プールエリア放射線モニタ(高レンジ)(SA)の耐震性についての計算書	P.20	使用材料のボルト素材径を修正しました。	2023/1/24	